

豊橋市民病院だより

青竹

NO.

54

2012.10.1

編集：病院広報紙編集委員会
委員長 鈴木 伸行

- 2 事務局から
- 4 新任医師の紹介・退任医師の紹介
- 6 看護局から
- 7 診療技術局から
- 8 くすり箱
- 9 提案箱～提案を活用させて頂きました～
- 10 感染症管理センターから
- 11 あとがき
- 12 お知らせ



外来治療センター

豊橋市民病院

病院機能評価について

豊橋市民病院長 岡村正造

豊橋市民病院では、安全で質の高い医療を効率的に提供するために、日々努力をしているところですが、さらに医療の安全・質の高さを効果的に向上させるために、公益財団法人日本医療機能評価機構（以下機構と呼称）による病院機能評価の認定を受けております。

この機構は医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかになった問題点の改善を支援するために設立されました。平成24年8月3日現在、全国8580病院中、2428病院が、この機構による病院機能評価の認定を受けております。

当院では同機構から平成19年12月8日にバージョン5.0の認定を受けておりますが、本年、最新バージョン6.0で認定の更新を受ける予定であります。

バージョン6.0の一般病院版は

第1領域:病院組織の運営と地域における役割

第2領域:患者の権利と医療の質および安全の確保

第3領域:療養環境と患者サービス

第4領域:医療提供の組織と運営

第5領域:医療の質と安全のためのケアプロセス

第6領域:病院運営管理の合理性

と6つの領域から成り立ち、更に各領域は52の大項目、137の中項目、352の小項目に分かれております。

このうち、中項目は「5.極めて適切に行われている、4.適切に行われている、3.中間、2.適切さにやや欠ける、1.適切でない」の5段階評価で「3.中間」評価以上、小項目は「a.適切に行われている、b.中間、c.適切さに欠ける」の3段階評価で「b.中間」評価以上が合格となります。

現在、11月に認定更新を受審するため病院全体で取り組んでおりますが、これは通過点にすぎません。今後も、当院の理念・基本方針に基づき、安全で質の高い医療を効率的に提供するために、一層の努力をしてまいります。

患者総合支援センターがお手伝いをしています

患者総合支援センターでは、次の業務を行うことにより、患者さんが安心して治療を受けていただき、また、お住まいの地域で、より良い療養生活を送っていただけるようお手伝いをしています。

1. 患者総合支援センターの機能

(1) 医療福祉相談

病気やケガにより生じる生活上の心理的社会的不安や心配は、治療や療養の妨げになることがあります。こうした不安や心配について、医療ソーシャルワーカーと一緒に考え、必要により院内スタッフや地域の医療、保健、福祉などの機関と連絡・調整し、問題解決に向けたお手伝いをしています。

また、引き続き入院治療を必要とする患者さんの転院先のご相談や自宅等への退院時の療養環境の調整について、退院調整看護師がお手伝いをしています。

電話 0532-33-6111(代) 内線 1411

(2) がん相談

当院は、地域におけるがん医療の中心として、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、がん相談を行っています。

相談は、一定の研修を修了した相談員(看護師、医療ソーシャルワーカー)が、①がん診療、予防・早期発見に関する一般的な情報提供 ②地域の医療機関の情報提供 ③セカンドオピニオンに関する相談 ④地域がん医療連携に関する情報提供 ⑤療養上の相談支援 の対応をしております。

患者さんやご家族の方の安心した療養生活へつなげるよう支援しています。

電話 0532-33-6290(直通)

(3) 女性相談

女性特有の悩み・不安などで相談のしづらい場合があると思います。こうした場合に、女性看護師が相談に対応しています。内容によって適切な診療科をご案内し、円滑な受診におつなぎしています。

電話 0532-33-6232(直通)

(4) セカンドオピニオン相談

女性看護師が相談に対応しています。

電話 0532-33-6290(直通)

(5) 病診連携室(MCR Medical-Cooperation-Room)／豊橋市医師会設置・運営

地域の医療機関と連携することにより、効果的に患者さんの治療にあたることができます。治療にあたり、かかりつけ医が専門的な検査や治療を必要とした場合、病診連携室を通じて当院の受診予約を調整し、患者さんの効率的な受診におつなぎしています。

また、当院入院中の患者さんが他の医療機関へ転院する場合、病診連携室を通じて転院の申し込みをしています。

(6) 医療情報提供コーナー

当院を利用される患者さんやご家族に対し、一般的な医療に関する情報提供を目的として設置しています。このコーナーには、リーフレットやパンフレットなどの資料を取り揃えています。

また、医療・福祉情報に関しインターネットによる検索をしていただけるようパソコンを設置しています。

2. 場所

1階病棟喫茶室横にあります。

3. 利用時間

(1) がん相談、女性相談、セカンドオピニオン相談

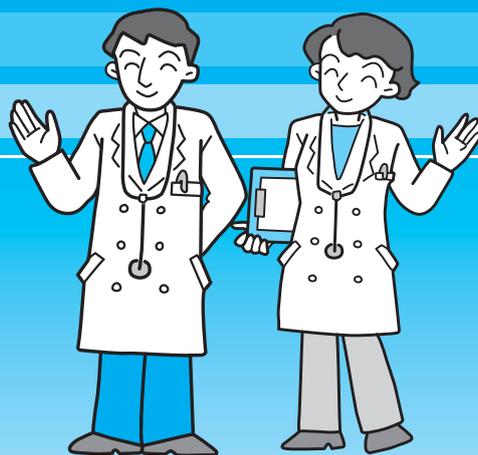
休診日を除く毎日、
午前9時00分から午後4時00分

(2) 医療福祉相談、医療情報提供コーナー

休診日を除く毎日、
午前8時30分から午後5時00分

NEW DOCTOR

新任医師の 紹介



NEW DOCTOR

- 1 所属
- 2 赴任日
- 3 前任地
- 4 趣味
- 5 その他 自由 (抱負、自己PR、家族のこと、最近思うことほか)

篠原 健太郎

(しのはら けんたろう)



- 1 一般外科
- 2 平成24年7月1日
- 3 八千代病院
- 4 オートバイ、スノーボード
- 5 地域の中核病院である豊橋市民病院で働ける事となり大変うれしく感じています。少しでも皆さんの暮らしに貢献出来るようにと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

大貫 安希子

(おおぬき あきこ)



- 1 形成外科
- 2 平成24年7月1日
- 3 愛知医科大学附属病院
- 4 スイーツ食べ歩き
- 5 私の実家は浜松ですが、大学は宮崎、研修医以降は愛知県、今回豊橋と徐々に戻って来れています。豊橋市民病院に来てくださる患者さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

後藤 大輝

(ごとう ひろき)



- 1 歯科口腔外科
- 2 平成24年8月1日
- 3 愛知学院大学歯学部附属病院
- 4 スノーボード
- 5 8月から常勤で豊橋市民病院で勤務させて頂く事になりました。歯科医療を通じて、社会に貢献出来るよう誠心誠意努めますので宜しくお願いいたします。

佐橋 里美

(さはし さとみ)



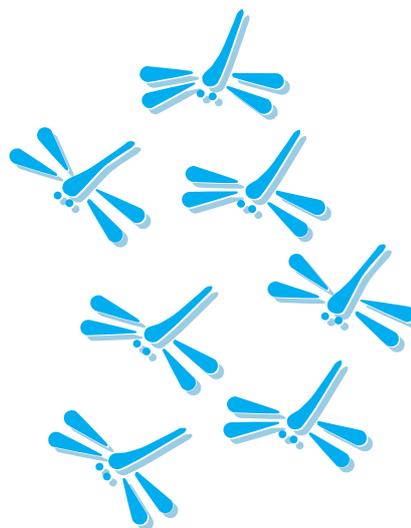
- 1 血液・腫瘍内科
- 2 平成24年8月1日
- 3 安城更生病院
- 4 歌を唄う事、美味しい物を食べる事
- 5 今度お世話になる事になりました、佐橋里美と申します。豊橋に住むのは初めてです。食堂の美味しさと病院から見える海に癒されています。微力ですが少しでもお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願いいたします。

鈴木将史

(すずき まさし)

- ① 神経内科
- ② 平成24年8月1日
- ③ 安城更生病院
- ④ 休日に家族と出かける事
- ⑤ 安城更生病院で研修後4年

間程神経内科医として勤務し、豊橋に来ました。まだまだ未熟ですが、少しでもお役に立てるように頑張りたいと思います。慣れない環境で御迷惑をかける事もあると思いますが、宜しくお願い致します。



退任医師の紹介

氏名	所属	退任日
大塚 聡樹	移植外科	平成24年4月30日
灰本 章一	脳神経外科	平成24年6月10日
山田 美保子	一般外科	平成24年6月30日
樋口 朋子	形成外科	平成24年6月30日
戸川 貴夫	小児科	平成24年6月30日
麩山 勇	麻酔科 (ペインクリニック)	平成24年7月31日
文 麻友美	歯科口腔外科	平成24年7月31日
西脇 聡史	血液・腫瘍内科	平成24年8月10日



新師長紹介



大林 順子

内科外来

4月より内科外来師長に就任いたしました。不安と緊張の中でスタートしましたが、主任はじめスタッフに支えられながら頑張っています。なにより、患者さんに声をかけられ、笑顔をいただく事が原動力となっています。内科外来には、毎日多くの患者さんが診察・治療のために来院されます。患者さんが安心して診察や治療を受けていただけるように、笑顔と気配りを忘れず、気軽に声をかけていただける環境をつくっていきます。よろしくお願いいたします。



吹浦 博美

東病棟6階

平成24年4月より東病棟6階の師長に就任いたしました。不安と緊張の毎日ですが、日々スタッフに支えられ頑張っています。東病棟6階は消化器内科・呼吸器内科の病棟です。精神的・身体的に苦痛を伴い入院してこられる患者さんが、安心して療養生活を送られるように援助させて頂きます。そのため笑顔・やさしい言葉かけ・誠実な看護のできるスタッフの育成に力を注いでいきたいと思っています。まだまだ未熟ではありますが、精一杯努力してまいります。よろしくお願いいたします。

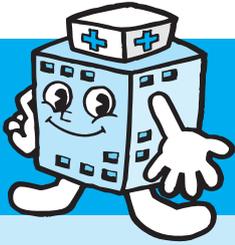


竹荒 静子

東病棟7階

平成24年度4月より病棟看護師長に就任いたしました。東病棟7階は呼吸器内科と耳鼻咽喉科の混合病棟で、肺・気管支疾患の内科的治療や検査、また、耳鼻咽喉科の手術等が行われています。患者さんは、いろいろな思いを抱えながら入院生活を送られています。私たちは、患者さんや家族の方の日常の時間を大切にし、患者さんの心の声に耳を傾けることができるような温もりのある看護を提供したいと考えております。そのため、スタッフ育成や環境整備に心掛けていきます。宜しくお願いいたします。





診療技術局から

リハビリテーション技術室

変形性膝関節症とつきあうために…

変形性膝関節症とは

加齢にともなって膝関節のクッションである軟骨のすり減りや筋力低下が原因となって膝関節の炎症や変形をきたして痛みが生じる病気です。

つきあっていくために

薬などにより痛みを調節しながら、膝関節周辺の
・筋肉を固くしない ・曲げ伸ばしの角度を悪くしない ・筋力を落とさない ことが大切です。

ポイント

水の中や杖を支えて歩くことは膝にとって良いです。
杖は膝が痛い側と反対側の手に持つことが基本となりますが、両側の膝の痛みがある方も多いです。

その際は写真のようなポール・ステッキを両側に持って歩くことも良いでしょう。両側の膝や腰にかかる負担を減らす助けになります。





授乳とくすり

母乳育児のメリットは赤ちゃん側とお母さん側の両方にあり、この効果は母乳を飲んでいる間だけでなく、成人になっても続くことがわかっています。母乳は最も理想的な栄養分を含み、消化・吸収が良く、アレルギーや感染のリスクを軽減させてくれ、赤ちゃんにとってかけがえのないものです。このため多くのお母さんは赤ちゃんを母乳で育てることを望んでいます。

授乳中のお母さんでも病気になれば、薬を飲まなくてはならないときがあります。赤ちゃんへの影響を心配し、薬を飲むなら母乳を中止する、あるいは自己判断で薬を飲むのをじっと我慢をする、または服用を中断していることもあるでしょう。



しかし、お母さんが飲んだほとんどの薬は母乳の中に移行しますが、一般にその量はお母さんが飲んだ量の1%以下というきわめて少ない量であるといわれています。薬の影響を心配して授乳を中止しなければならないケースはまれなことが多いようです。

母乳に移行する量が少なくても、赤ちゃんに影響を及ぼすおそれがあり、授乳を中断する必要がある代表的な薬を下表に示してあります。

たとえ母乳を飲ませられなくても、お母さん自身の健康状態がよいことが、赤ちゃんにとって一番大切なことです。

授乳の中断が必要な代表的な薬	使用目的
放射性同位元素(放射性ヨウ素など)	検査
抗悪性腫瘍剤	悪性腫瘍
免疫抑制剤	リウマチなど
コカイン	表面麻酔
アミオダロン	不整脈

授乳中は、市販薬も含めて必ず医師や薬剤師に相談しましょう。



提案箱

～提案を活用させて頂きました～



提案書への対応状況報告

提案内容

提案日 平成24年6月

外来に通っていますが、車椅子を利用しています。その返却ですが玄関周りの混雑状況により、救急外来入口辺りでの返却も可能にさせていただきたいのですが。

対応内容

ご提案ありがとうございます。
車椅子は、正面玄関前や救急外来・入院玄関前などに配置されており、利用状況に応じて職員が移動しています。特に救急外来入口辺りへの返却を禁止していませんので、ご利用いただきたいと思えます。

提案内容

提案日 平成24年8月

食事を改善してください。医師・看護師・他のスタッフも毎食食してみたいはいかがでしょうか。調理される方はバランスや数値のみにとらわれすぎず、患者さんに適した食事であるかどうかチェックされた方がよいと思えます。

対応内容

ご提案ありがとうございます。
患者さんに提供する食事は、医師、管理栄養士、給食委託業者により毎食検食を行い、問題点があれば随時改善しています。また、食事に関するアンケート結果では、84%の患者さんより「満足」「まあまあ」との回答をいただいています。しかし、「不満足」との回答もあるため、引き続き食事内容の改善に努めます。

結核の発生状況と採痰ブース

看護局 感染症管理センター師長 高橋一嘉

世界から見て、日本は結核の中蔓延国だと言われます。「昔の病気」といつて侮らず結核の発生状況に目を向けてみませんか。また、結核の診断に喀痰の検査は欠かせません。病院で喀痰を採るときに使用する採痰ブースについてもご紹介します。

■日本の結核罹患率

表に示すように、諸外国(欧米先進国)などと比較すると日本の結核罹患率 17.7 がいかにかわがわかります。国内の状況は厚生労働省の「平成 23 年度・結核登録情報調査年報集計結果」に詳しく出ています。これによると毎年新しく診断される結核患者は 2 万人を超えており、半数以上が 70 歳以上の高齢者だそうです。一方、働き盛りの年齢層では発見の遅れが顕著で感染を拡大させる危険性が高いよう

国名	罹患率	年次
米国	4.1	2010
カナダ	4.7	2010
ドイツ	4.8	2010
イタリア	4.9	2010
デンマーク	6.0	2010
オーストラリア	6.3	2010
スウェーデン	6.8	2010
オランダ	7.3	2010
フランス	9.3	2010
英国	13.0	2010
日本	17.7	2011

人口10万人あたりの罹患率

です。地域差が大きいことも問題です。大阪市の 41.5 に続いて、名古屋市 28.1、東京都特別区 25.6、神戸市 24.6 など、人口の多い大都市圏で高い罹患率を示しています。

悪いことばかりではありません。結核の罹患率は緩やかですが減少を示しており、潜在性結核感染者(感染しているが発病していない人)の治療も増えています。衣食住の改善や保健指導の強化など、少しでも罹患率を下げる努力が実を結んでいるのだと思われます。私たちにできることはこのような結核の状況に目を向け続けることかも知れません。

■採痰ブース



肺の病気の診断のために喀痰の検査を行います。もちろん結核の診断にも用います。外来で喀痰検査が必要になると採痰ブース(外来 2 階/中央検査受付付近)の中で痰を採取していただくようご案内しています。お気づきのよう痰を出す際の咳払いなどで結核菌を飛散させないためです。使用する毎に除菌されるので、次の方も衛生的に使用できます。採痰ブースの使用にご理解とご協力をお願いします。

*利用困難な方には他の方法を提案しております。

あしがき

豊橋市民病院
岡村正造



社会保障と税の 一体改革法案可決

今年8月に社会保障と税の一体改革法案が民主・自民・公明の三党合意のもとに参議院も通過し可決成立しました。いよいよ消費税が2014年4月には8%、2015年10月には10%に引き上げられます。

民主党政権は“コンクリートから人へ”“生活第一”という掛け声とともに大きな期待を背に受けて発足しましたが、大々的に掲げたマニフェストのうちの多くが実行されないまま現在に至っており、政党支持率は低迷を続けています。しかし、上記法案は成立しましたので、法案の中身等について若干の私見を述べます。本法案の“社会保障”とは年金・医療・介護・子育てのことであり、我が国の急速な高齢化の進行に伴い年金・医療・介護に要する費用の増加は莫大な額になります。医療費だけでも毎年1兆円ずつ増加すると試算されており、年金はそれより伸び率が遥かに高いのです。医療費は4年前まで10年間マイナス改定が続いていましたので総額の伸び率は年金などよりずっと低く抑えられてきました。(そのことで公的病院の7-8割は赤

字経営に陥りましたが)介護費用も低く抑えられていましたので、介護ヘルパーの方々の手当ても劣悪であり、離職率が高い状況が続いています。また、平成2年度と平成24年度の国家予算を比較してみると、税収が歳入に占める割合は83.8%から46.9%まで落ち込んだのに対し、社会保障費が一般歳出に占める割合は29.4%から51.5%まで跳ね上がりました。このような数字と今後の日本社会の高齢化を考えると、医療者としては1日でも早く消費税の増税をと考えざるを得ません。『後は野となれ山となれ』では済まされないと思います。

さらに、この法案では『どこに住んでもいても適切な医療・介護サービスが受けられるように』という目的が掲げられていますので、今後は病院機能のさらなる強化と効率化、急性期病院から在宅医療までのスムーズな連携の推進が図られるものと考えます。言うまでもなく当院は高度急性期病院としての機能の充実に邁進していく所存ですので市民の皆様のバックアップ、熱烈なる応援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆さんの知らない消費税に関する院長の心配事をお聞き下さい。それは、消費税が引き上げられると医療機関は医薬品や、診療材料、医療機器の購入、建物の更新、その他諸々の購入に支払う消費税(支出)が増えますが、病院の収入源である医療費には消費税がかからず、その結果、消費税の支払(支出)だけがが増えて収入は増えず、当院の場合、消費税1%につき年間約1億円の損失(消費税損税)となります。この問題を放置したまま消費税増税を迎えると全国の医療機関の収支は再び火の車になってしまいます。このようなことがないように切に祈っている次第です。

お知らせ

ボランティア募集

※ボランティアグループ「ブルーバンブー」に参加しませんか！

豊橋市民病院ボランティアグループ「ブルーバンブー」では、患者さんの車椅子乗り降りや外来受診の受け付け介助等を行っていただくボランティアを募集しています。

- 1 活動場所
豊橋市民病院 正面玄関及び外来ホール
- 2 活動内容
・車椅子使用の患者さんの援助
・診察申込書、問診票の代筆援助
・患者さんの案内
- 3 活動日時 週一回でも参加可能ですので御相談下さい。
平日（午前8時30分～午前11時30分）
ただし、年末年始（12月29日～1月3日）は除く。



車椅子介助の様子

※催し物の募集

豊橋市民病院では診療棟1階にある吹き抜けの明るいアトリウム等を利用して音楽会や生け花の展示等の患者さんの心の癒しとなる催しをしていただける方を募集しています。



音楽会の様子

問合先 管理課 庶務担当 33-6276

豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、地域に開かれた安らぎのある病院

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

当院のご案内は下記でも行っています。併せてご覧下さい。
豊橋市民病院インターネットホームページアドレス

<http://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>



豊橋市民病院
携帯サイト

